

平成 21 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 **ミサワホーム株式会社**
代表者名 代表取締役 竹中宣雄
(コード番号 1722 東証・大証・名証第1部)
問合せ先 経営企画部 広報・IR担当部長 中村 孝
(TEL. 03-3349-8088)

当社子会社（ミサワホーム北海道株式会社）の通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、当社子会社であるミサワホーム北海道株式会社が平成 21 年 5 月 15 日に公表した平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の通期業績予想を、別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

以 上

平成21年11月10日

各位

上場会社名 ミサワホーム北海道株式会社
 代表者 代表取締役 渡辺 道広
 (コード番号 1761)
 問合せ先責任者 執行役員 総合企画部長 星加 龍哉
 (TEL 011-822-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,200	120	70	50	4.51
今回発表予想(B)	10,850	△110	△160	△180	△15.92
増減額(B-A)	△1,350	△230	△230	△230	
増減率(%)	△11.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	14,310	△112	△167	△361	△34.90

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,500	210	100	70	6.32
今回発表予想(B)	23,000	157	47	10	0.87
増減額(B-A)	△2,500	△53	△53	△60	
増減率(%)	△9.8	△25.2	△53.0	△85.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	26,840	△448	△558	△872	△84.18

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,400	90	40	30	2.71
今回発表予想(B)	9,950	△190	△240	△240	△21.22
増減額(B-A)	△1,450	△280	△280	△270	
増減率(%)	△12.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	13,322	△169	△225	△399	△38.51

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,900	160	60	40	3.61
今回発表予想(B)	21,080	136	23	22	1.91
増減額(B-A)	△2,820	△24	△37	△18	
増減率(%)	△11.8	△15.0	△61.7	△45.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	25,181	△509	△620	△912	△88.06

修正の理由

(1) 個別業績予想

当第2四半期累計期間における北海道経済は、個人消費の一部にやや持ち直しの動きは見られるものの、住宅業界は、長引く不況の中、雇用・所得不安や先行き不透明感が払拭されず、新設住宅着工戸数は、大幅に減少するなど、総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、コストダウンの徹底により、手持ち工事の利益改善や、販売費及び一般管理費の削減等に努力してまいりましたが、想定以上に受注が低調に推移したため、売上高は前回の公表を下回り、99億50百万円となり、それに伴い、営業損失は1億90百万円、経常損失2億40百万円、税引後四半期純損失2億40百万円となる見込みであります。

また、通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績を踏まえ、修正するものであります。

(2) 連結業績予想

連結業績予想につきましては、主に個別の業績修正理由に伴い、修正するものであります。

(注) 今回の修正値は発表日現在入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実なる仮定を前提としており、実際の決算とは異なる可能性があります。

以上